

2021年7月5日（月）

株式会社 東計電算

**外食・中食業、小売業、卸売業、食品製造業の業務を一元管理できる
東計電算のシステム「Skymart」が、12月より電子帳簿保存法に対応**
～コロナ禍で販路拡大や業務効率化を要する事業者を支援～

株式会社東計電算（本社：神奈川県川崎市中原区、代表取締役社長：古閑 祐二）が提供する、飲食業、小売業、卸売業、食品製造業向けのクラウド型基幹システム「Skymart」は、取引先受発注管理システム「Skymart-EDI」のアップデートを行い、2021年12月より、電子帳簿保存法の「取引関係書類」「電子取引」等の検索要件に対応します。



「Skymart」は、店舗業態、卸業態、製造業態に対し、販売・購買・在庫・製造の各業務を一元管理できるクラウド型基幹システムです。店舗（外食・中食業、小売業）の売上、発注、仕入、在庫、損益、顧客、メニュー/レシピ管理等のバックオフィス業務を行う「Skymart-Retail」、店舗、工場（CK）、倉庫、本部で働く従業員の採用、出退勤、シフト管理を行う「Skymart-Labor」、卸売業における売上、発注、仕入、請求、支払、売掛、買掛、在庫等の販売管理を行う「Skymart-Sales」、食品製造工場における生産計画や製造指示、製造実績の管理を行う「Skymart-Factory」、そして取引先との受発注管理を行う「Skymart-EDI」の5つのシステムと、共通マスタとなるデータベースを一元化。これによって、店舗、工場、倉庫、本部、取引先を1システムで統合管理することが可能です。マスタ管理や業務間連携の効率化、社内情報共有化、クイック&タイムリーな経営情報の取得が行え、現在、飲食・小売の事業者を中心に970社、10,500店舗、取引先1,000社以上に導入されています。

最近では、飲食業ではコロナ禍で外食ニーズが減少したことを受け、通販サイトに加え、新たな販路として、工場で製造した食品を自社店舗だけでなく他のスーパーやホテルなどに卸す事例が増えています。また、経営のスリム化のため店舗の業務効率化やDX推進も急がれています。

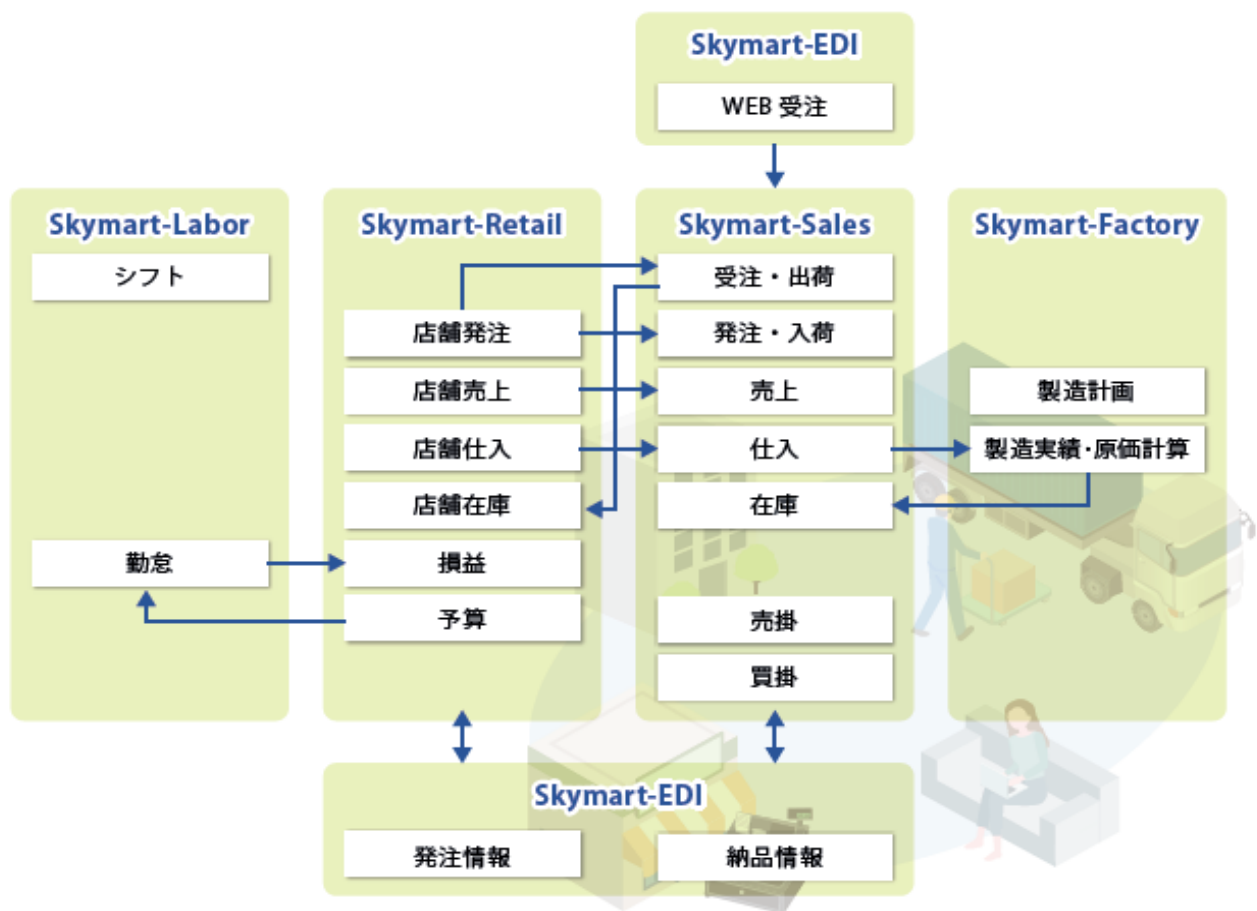
「店舗」「卸」双方へマルチチャネル対応を行える「Skymart」は、こうした飲食業界のニーズに応えます。多様な店舗の商習慣に応える20種以上の業界向け帳票テンプレートをご用意したほか、販売・受発注管理をより柔軟に行えるように、大手メーカーPOS、券売機、デザイン系タブレットPOSと様々な種類の会計機器と連携できる機能や、事務作業を軽減する自動発注機能も標準実装しています。新たにシステムを開発することなく販路拡大に対応でき、また現場での販売実績の集計・売上管理、出退勤からの人件費実績、発注から始まる仕入実績にて、自動的に「店舗概算収益」が作成できます。全てのデータを一元的に管理可能にすることで、業務効率化とスピード経営に貢献します。

近年では、ドラッグストアや専門店などの小売事業者の導入も増加しています。小売店では、店頭でお客様に対してタイムリーに顧客・商品情報を提供する必要性が高いことから、POSソフト『LINK-POS』『LINK-Handy』を開発し、現場ニーズへの柔軟な対応を実現しています。

今回の「Skymart-EDI」の電子帳簿保存法への対応も、幅広い業種の顧客ニーズに対応するための機能拡充の一つです。これによって、納品書や請求書等の取引関係書類をクラウド上で管理できるようになり、更なるコスト削減や業務効率化に貢献します。今後も東計電算は、お客様のニーズに技術力でお応えし、最適なITソリューションを提供することで、事業の変革や業務効率化を推進する企業のDXを支援してまいります。

■ 「Skymart」の特徴（サービスサイト：https://www.toukei.co.jp/market/food_mart_solution）

「Skymart」は、Skymart-Sales（販売管理）、Skymart-Factory（製造管理）、Skymart-Retail（店舗管理）、Skymart-Labor（勤怠管理）、Skymart-EDI（取引先受発注管理）の5つのシステムと、共通マスタ管理が一体となったクラウドシステムです。



マルチチャネル対応・一元管理の効率化・経営情報の見える化

1つのシステムで店舗業態・卸業態・製造業態に対応し、販売・購買・製造・在庫の各業務を統合管理できます。業務間の連携を効率化し、社内で情報を共有化しやすくすることから、経営情報をよりタイムリーに取得することが可能になります。

マルチブラウザ、マルチデバイス

- ・マルチブラウザ (IE、Edge、Chrome、Safari)
- ・マルチデバイス (PC、タブレット、スマートフォン)

OSやデバイス機器に依存しない運用を実現します。システムは全てインターネットで利用でき、外出先からのアクセスやテレワークにも対応できます。

クラウド型のサービス提供

当社は自社データセンターを保有するソフトウェアベンダーであるため、開発・システムサポート・設備運用が一体となってお客様の業務をサポートします。

データセンターのクラウドサーバから、インターネット網を通じてサービスを提供し、サーバ機器購入や維持管理にかかる費用負担を抑えることで、資産投資を本業へ集中できるシステム環境を実現、資産投資効率を向上します。

導入・費用

導入（契約）は、サブシステム単位（Retail/Labor/Sales/Factory/EDI）に可能です。

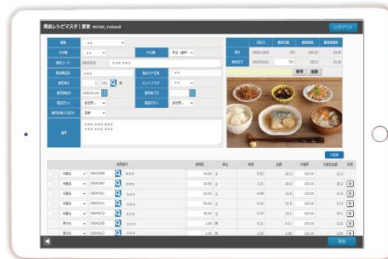
企業の出店計画にあわせた無駄のない導入投資が可能であり、企業の成長と共に段階的なシステム拡張が行えます。また Retail、Labor、EDI は一部従量課金制で、お客様の毎月の使用料のみがコストとなるため、不要コストがなく経営者の方に安心して選定いただいています。

■ イメージ Sample

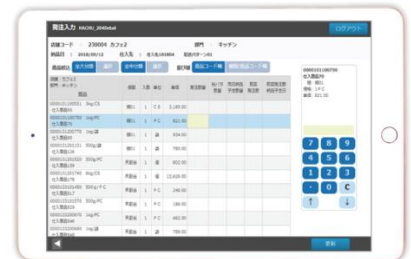
トップ画面



レシビ登録



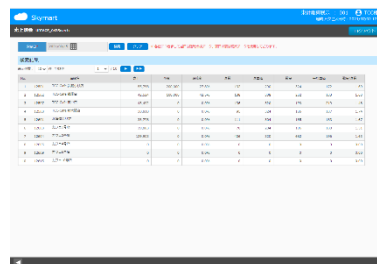
発注登録【タブレット専用】



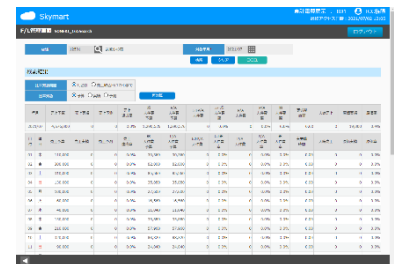
シフト登録



売上照会



店舗P/L



■ 「ITソリューションフェア 2021」に出展中 東京開催は7月8日(木)・9日(金)

「Skymart」は、クラウドシステム展示会「ITソリューションフェア 2021」に出展し、最新システムのデモおよびシステム毎の導入事例などをご紹介します。7月8日(木)・9日(金)には、東京会場での展示が行われます。



会 期： 2021年7月8日(木) 13:00～17:00、7月9日(木) 10:00～17:00

会 場： 新宿センタービル 株式会社ミロク情報サービス BP/SI 推進支社 セミナールーム

アクセス： JR線・小田急線・京王線・東京メトロ丸ノ内線「新宿」駅西口より 徒歩約5分
都営大江戸線「都庁前」駅より 徒歩約2分

会場 HP： <https://www.mjs.co.jp/office/mjsoffice.html?IBranchOfficeId=33>

ITソリューションフェア2021の出展および各会場情報は下記東計電算 HP にて掲載となります。

■ 会社概要

会 社 名： 株式会社 東計電算 (<https://www.toukei.co.jp/>)

本 社： 神奈川県川崎市中原区市ノ坪 150

代 表 者： 代表取締役社長 古閑 祐二

設 立： 1970年4月1日

資 本 金： 13億7015万円

事業内容： 業種・業務毎に専門特化したソリューションのシステム設計・開発・運用事業(製造業、流通業、住宅関連業、建設業、小売業、物流業、公共事業、機械制御分野、放送・通信分野、
外食産業、通販業他サービス業等)／免震装置と自社開発のセキュリティシステム等を備えた IDC を活用したアウトソーシングサービス事業(汎用機からサーバ機までの運用管理)／
海外を含めたネットワークサービス構築、情報システム構築・導入、コンサルティング事業

従業員数： 802名 (2020年12月期)

【本件に関する報道関係のお問い合わせ先】

東計電算 広報事務局 (株式会社プラップジャパン内) 担当 丸山、島田、竹之下

TEL：070-2161-7104 / 03-4570-3191 MAIL：toukei@prap.co.jp

【一般の方からの製品に関するお問い合わせ先 (ご掲載用)】

株式会社東計電算 ストアシステム営業部

TEL：044-738-0153 MAIL：kuwa1610@toukei.co.jp